

# 事後評価結果（平成29年度）

担当課：東北地方整備局道路計画第一課  
 担当課長名：舟波 昭一

事業名	東北横断自動車道釜石秋田線 <small>みやもり とうわ</small> 宮守～東和	事業区分	高速自動車国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点	自：岩手県遠野市宮守町下鱒沢 至：岩手県花巻市東和町安俣	延長	23.7km		

## 事業概要

東北横断自動車道釜石秋田線（釜石～花巻）は、東日本大震災からの早期復興に向けたリーディングプロジェクトとして岩手県釜石市～花巻市に至る約80kmの復興支援道路（自動車専用道路）である。

## 事業の目的・必要性

宮守～東和は東北横断自動車道釜石秋田線の一部を形成し、内陸・沿岸地域の広域的な連携強化・交流促進、国道283号とのダブルネットワークによる信頼性向上、救急搬送時の速達性・安定性向上、地域産業の振興、現道隘路の解消等を目的とする道路である。

## 事業概要図

### 【事業概要】

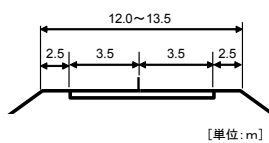
#### 【位置図】



東北横断自動車道釜石秋田線（釜石～花巻） L=約80km



#### 【標準横断面図】



凡例	● : H27交通量調査
その他凡例	● : H27交通量調査
その他道路凡例	道路種別
	■ : 評価対象区間
	■ : 高規格道路
	— : 一般国道
	— : 主要地方道
	— : 一般県道

事業の 効果 等	事業期間	事業化	平成10年度	用地着手	平成17年度	供用年	(当初) - / H24	変動	1.00倍
		都市計画決定	平成8年度	工事着手	平成17年度	(暫定/完成)	(実績) - / H24		
	事業費	再評価時	(名目値) - / 772億円		実績	(名目値) - / 503億円		変動	0.65倍
		(暫定/完成)	(実質値) - / 1,004億円		(暫定/完成)	(実質値) - / 497億円			
交通量	計画時	(H20)		実績	(H29)		変動	89.1%	
(当該路線)	(暫定/完成)	- / 9,200台/日		(暫定/完成)	- / 8,200台/日				
旅行速度向上	50.0km/h → 70.0km/h		交通事故減少		61件/年 → 25件/年				
(供用前現道→当該路線)	(供用前年次) H24年度 (供用後年次) H28年度		(供用前現道→供用後現道)		(H21-H23) (H25-H27)				

費用対効果 分析結果 (再評価)	B/C	総費用 : 757億円 事業費 : 703億円 維持管理費 : 54億円	総便益 : 953億円 走行時間短縮便益 : 705億円 走行経費減少便益 : 179億円 交通事故減少便益 : 70億円	基準年 : 平成20年
	1.3			
費用対効果 分析結果 (事後)	B/C	総費用 : 771億円 事業費 : 683億円 維持管理費 : 88億円	総便益 : 1,176億円 走行時間短縮便益 : 858億円 走行経費減少便益 : 223億円 交通事故減少便益 : 95億円	基準年 : 平成29年
	1.5			
事業遅延によるコスト増		費用増加額 : -	便益減少額 : -	
事業遅延の理由				
客観的評価指標に対応する事後評価項目				
<ul style="list-style-type: none"> <li>①新幹線駅へのアクセス向上の状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>・遠野市～新花巻駅 (整備前: 56分→整備後: 50分)</li> </ul> </li> <li>②第二種空港へのアクセス向上の状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>・遠野市～花巻空港 (整備前: 60分→整備後: 49分)</li> </ul> </li> <li>③日常活動圏の中心都市へのアクセス向上の状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>・遠野市～花巻市 (整備前: 63分→整備後: 53分)</li> </ul> </li> <li>④主要な観光地へのアクセス向上による効果 <ul style="list-style-type: none"> <li>・花巻温泉郷 (整備前H23: 95万人→整備後H28: 109万人)</li> </ul> </li> <li>⑤三次医療施設へのアクセス向上の状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>・遠野市～岩手県立中部病院 (整備前: 64分→整備後: 56分)</li> </ul> </li> </ul>				
他11項目に該当				
その他評価すべきと判断した項目				
・特になし				
事業による環境変化	環境影響評価に対応する項目			
	・特になし			
その他評価すべきと判断した項目				
・特になし				
事業評価監視委員会の意見				
・事業当初の目的に対して効果を発現しており、対応方針(案)のとおり、「今後の事後評価及び改善措置の必要はない」は妥当。				
事業を巡る社会経済情勢等の変化				
<ul style="list-style-type: none"> <li>○沿線の開発状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年3月 遠野東工業団地の拡張整備が決定</li> </ul> </li> <li>○高規格幹線道路の整備状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>・三陸沿岸道路 平成26年3月 高田道路開通、平成27年11月 吉浜道路開通、平成29年11月 山田宮古道路開通</li> <li>・東北横断自動車道釜石秋田線(釜石～花巻) 平成30年度 釜石JCT～釜石西IC間(L=6.0km)、遠野住田IC～遠野IC間(L=11.0km) 開通予定</li> </ul> </li> </ul>				
今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の目的に対する効果を概ね発現しており、現時点では事後評価及び改善措置の必要性はない。</li> <li>・なお、今後のネットワーク完成等、社会状況等の変化に応じて改めて事後評価を実施する。</li> </ul>				
計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業は一般的な整備効果に加えて、釜石港へのアクセス向上による物流支援等地域特有の効果を発現している。同種事業においても想定される地域特有の課題解消や整備効果等について、事業進捗とともに把握に努める必要がある。</li> <li>・また、防雪柵設置区間見直しによるコスト縮減等を行っており、同種事業への反映に努める必要がある。</li> </ul>				
その他特記事項				
・特になし				

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。